

主要事業個別シート(第2次実施計画／H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	27008	ごみ溶融処理施設大規模整備事業	室名	廃棄物対策室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務	款
	施策の方向	05:廃棄物処理施設の適正管理	科	項
	戦略プロジェクト	-	目	目
事業予定期間 H 27 ～ H 37 年度 主な根拠法令要綱等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法				

② 目的・概要	対象	市民及び事業者
	目的	ごみ溶融処理施設は稼働後まもなく15年が経過するなかで、数年前から建物の一部外壁で雨水の浸透が生じ、これまで応急的な補修で対応してきた。しかし、経年劣化による外壁や屋根の損耗・腐食が著しいため、外壁等の改修工事を実施する。また、基幹的設備改良以後、老朽化に伴い耐用年数を迎える他の設備・機器について計画的に整備を行い、施設を今後15年間稼働できるよう延命化を図る。
概要	概要	建物の延命化を図るため、外壁材ALCの補修・塗装及びシール補修を行うとともに、炉室上部折版屋根のシリコン塗装を実施する。また今後耐用年数を迎える主な設備・機器にあつては、長寿命化計画の整備実行計画に基づいて、平成28年度から37年度において計画的に更新・改良工事を実施し、延命化を図る。

平成27年度				平成28年度			
③ 年度別事業計画 事業の計画	(ごみ溶融処理施設外壁等改修) ・設計・施工監理業務委託 ・外壁等改修工事			(ごみ溶融処理施設設備・機器改良) ・設備・機器改良工事 溶融物処理設備 2号水砕ピットケーシング更新(損傷部分) 大塊搬送コンベヤケーシング全面更新 大塊バケット搬入コンベヤ更新 用役設備 空気圧縮機更新(NO1～3)			
	計画額	事業費	50,500千円	84,000千円			
		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	50,500千円	84,000千円			
	予算額	事業費	45,792千円	80,000千円			
		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債	34,300千円	60,000千円			
		その他					
		一般財源	11,492千円	20,000千円			
	期間内総事業費(H27・H28)①		134,500千円	期間外事業費(H29以降)②	829,000千円	総事業費 (①+②)	963,500千円

④ 指標			平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
	①	名称	ごみ溶融処理施設外壁等改修 進捗率		
		補足	実施済み事業費／総事業費		
		活動	計画値	100	
			単位	%	
	②	名称	ごみ溶融処理施設設備・機器改良 進捗率		
		補足	実施済み事業費／総事業費		
		活動	計画値	9	18
			単位	%	%
	③	名称			
		補足			
			計画値		
			単位		
	④	名称			
		補足			
			計画値		
			単位		

事務事業評価シート

H27(主要事業)

①基本事項	計画コード	事業名		部名	環境産業部		
	27008	ごみ溶融処理施設大規模整備事業		室名	廃棄物対策室		
	施策体系	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計	01:一般会計	
		基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務	款	04:衛生費	
		施策の方向	05:廃棄物処理施設の適正管理	科	項	02:清掃費	
	戦略プロジェクト	-	目	目	02:塵芥処理費		

②目的・概要	対象	市民及び事業者				
	目的・概要	ごみ溶融処理施設は稼動後まもなく15年が経過するなかで、数年前から建物の一部外壁で雨水の浸透が生じ、これまで応急的な補修で対応してきた。しかし、経年劣化による外壁や屋根の損耗・腐食が著しいため、外壁等の改修工事を実施する。また、基幹的設備改良以後、老朽化に伴い耐用年数を迎える他の設備・機器について計画的に整備を行い、施設を今後15年間稼動できるよう延命化を図る。				
	概要	建物の延命化を図るため、外壁材ALCの補修・塗装及びシール補修を行うとともに、炉室上部折版屋根のシリコン塗装を実施する。また今後耐用年数を迎える主な設備・機器にあつては、長寿命化計画の整備実行計画に基づいて、平成28年度から37年度において計画的に更新・改良工事を実施し、延命化を図る。				

③指標	①	名称	ごみ溶融処理施設外壁等改修 進捗率	計画値	27年度		28年度	
		補足	実施済み事業費／総事業費	実績値	100			
			単位	100				
	②	名称	ごみ溶融処理施設設備・機器改良 進捗率	計画値			9	
		補足	実施済み事業費／総事業費	実績値				
			単位			%		
	③	名称		計画値				
		補足		実績値				
			単位					
	④	名称		計画値				
		補足		実績値				
			単位					

④事業の計画・実績	年度計画				年度実績				
	(ごみ溶融処理施設外壁等改修) 設計・施工監理業務委託 ・外壁等改修工事				(ごみ溶融処理施設外壁等改修) 監理業務委託 外壁等改修工事 外部足場 4,803㎡、シーリング計8,661㎡ 複層塗材E(アクリル系 凹凸模様)4,804㎡ 折板屋根改修、雨樋塗装改修				
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	531	平均給与額×③
		国庫支出金		0	45,792		一般職員人件費 ②	531	
		県支出金		0	45,792		所要人員 ③	0.07	
		地方債		34,300	34,300		臨時職員人件費 ④	0	
		その他		0			受益者負担額 ⑤	0	
		一般財源	50,500	11,492	11,492		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再 翌年度への繰越額		0					
		掲 前年度からの繰越額		0	0				
総人件費		①	531						
総コスト		⑥	46,299						

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	外壁材ALCの補修・塗装及びシール補修を行い建物外壁からの雨水の浸透を防ぐことができた。また炉室上部折版屋根のシリコン塗装をすることにより耐久性が増した。	A
		順調に進んだ
	【反省点・課題】	
	ごみピット上部の屋根の損耗は、内部に発生した亜硫酸ガスが結露水と結合して屋根材や屋根下地材を内部から腐食させたことが要因と考えられる。本来であればピット上部の屋根全体を葺き替えるべきであるが、施設運営に支障をきたし改修費も高額になることから、今回は腐食部の鋼板の増し張り及び下地腐食部への押さえ鉄骨の施工のみを行った。	
	【改善の方向性】	
	一般的な建築物とは違い、ごみ処理施設は高温や多湿、腐食ガスや振動等の影響で耐用年数が短いとされる。溶融施設長寿命化計画において、溶融処理に供する機器等の整備スケジュールは計画しているが、今後は建築物の長寿命化計画も検討し、計画的に改修工事を進めていく必要がある。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切
	最終評価確認者: 廃棄物対策室長 谷口 広幸	